

●公募型研究

だいず新品種候補「中育60号」

平成15～22年（8年間）

中央農業試験場・道南農業試験場・十勝農業試験場

共同（協力）機関

北海道農業改良普及センター・福島県農業総合センター・山形県農業総合研究センター・長野県花き野菜試験場・国産大豆協議会品質評価分科会・北海道豆類種子対策連絡協議会

Abstract 概要

北海道の道南地方では、晩生品種の「ユウツル」が、産地品種銘柄“つるの子”として栽培されてきました。「ユウツル」は、小袋売り（家庭消費用の乾燥豆）や煮豆加工用途で人気と需要がありますが、年次により裂皮粒が多発して商品価値が低くなるなど、品質的な問題がありました。また、被害が拡大しているダイズシストセンチュウに対する抵抗性をもたないことから、しばしばその被害が問題となってきました。「ユウツル」の後継品種として、これらの欠点を改良した「中育60号」が育成されました。

「中育60号」は「ユウツル」並に粒が大きく、煮豆の加工適性は「ユウツル」と同等です。「ユウツル」と比べると多収で、裂皮の発生が少なく外観品質が優れます、ダイズシストセンチュウ抵抗性もっています。

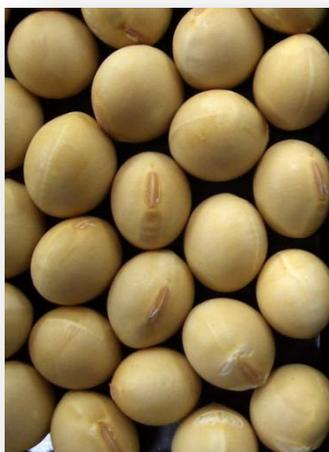
本品種を道南地方の「ユウツル」に置き換えて普及することによって、“つるの子”銘柄大豆の質安定生産が可能になります。

Results 成果

1 「中育60号」は裂皮が少なく、外観品質がよい

普及見込み地帯における試験事例（のべ3箇所9事例）において、「中育60号」は裂皮（大豆の種皮に亀裂が入り中が見えてしまう現象：参考右写真）の発生が少なく、外観品質が優れました。

※裂皮程度は、裂皮の発生を、無:0、微:0.5、少:1、中:2、多:3、甚:4の5段階で評価したものの9事例の平均値。



中育60号
裂皮程度 0.5



矢印は裂皮粒を示す

ユウツル
裂皮程度 2.7

Results 成果

2 「中育60号」は「ユウツル」より多収で、ダイズシストセンチュウに抵抗性をもつ

普及見込み地帯における試験成績（平成20～22年、のべ7カ所）の平均において、「中育60号」は「ユウツル」と比較して成熟期は1日遅く、子実重は109%と多収でした。また、ダイズシストセンチュウ抵抗性は“強”です。

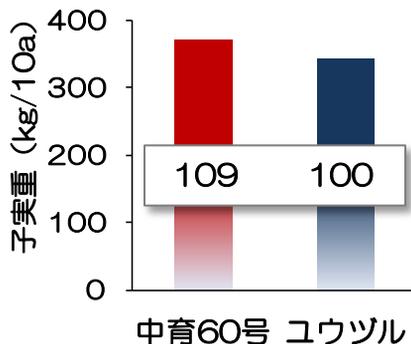


表1 ダイズシストセンチュウ抵抗性の評価

| 品種名 | 抵抗性の区分 |
|-------|------------|
| 中育60号 | 強（レース3抵抗性） |
| ユウツル | 弱（感受性） |

図2 普及見込み地帯における子実重

3 煮豆加工適性に優れる

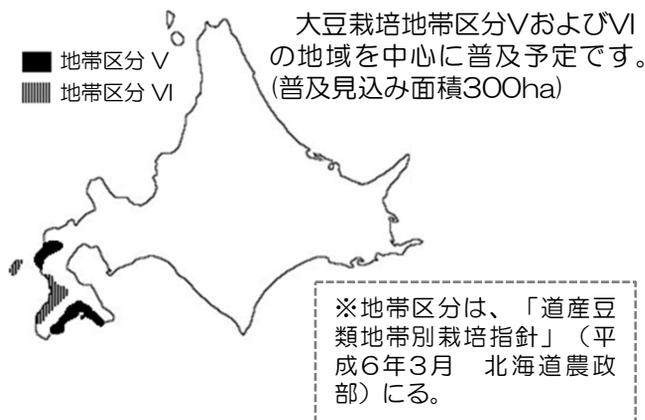
実需者による試作試験結果において、煮豆加工適性は「ユウツル」並に優れます。

表2 煮豆試作試験結果

| 実需者による総合評価 | 該当件数 |
|-------------|------|
| 「ユウツル」より優れる | 3 |
| 「ユウツル」と同等 | 5 |
| 「ユウツル」より劣る | 0 |

※のべ5社による8事例の結果。

4 普及見込み地帯



Activities 業績

【発表論文等】
 大西志全（2011）多収で裂皮の少ない道南向け極大粒大豆新品種「中育60号」、ニューカントリー、58（4）：56-57。
 大西志全・鴻坂扶美子・藤田正平（2011）たいす新品種「中育60号」、北農、78（2）：27。
 鴻坂扶美子（2011）大豆新品種候補「中育60号」の品種特性、農家の友、5月号。
 鴻坂扶美子（2011）多収で裂皮の少ない極大粒大豆新品種「中育60号」、北海道NOSAI技術情報普及農情情報誌版（農業共済新聞）、3月23日。
 紹介記事掲載（2011）マンスリー大豆と技術「中育60号」、フードジャーナル、31（4）：17。

【研究成果入手先】
 道総研農業研究本部の「農業技術情報広場」で、本成果に関する概要(pdf)を公開。
<http://www.agri.hro.or.jp/center/kenkyuseika/jiipan23.html>

Dissemination 普及

■平成23年1月に北海道の優良品種に認定され、道南地方を中心に普及予定。
 （普及見込み面積：300ha）

■平成23年度は試作試験を実施中であり、平成24年度より一般栽培がスタートする予定。

Contact 問い合わせ

農業研究本部 中央農業試験場
 作物開発部 作物グループ

【電話】 0123-89-2001
 【メール】 central-agri@hro.or.jp
 【ウェブ】 <http://www.agri.hro.or.jp/chuo>